

認定特定非営利活動法人

2019年 6月号

大津夜まわりの会ニュース

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール: yomawarinokai@gmail.com

http://otsu-yomawarinokai.org/

シェルター(5室)の稼働率 93.7%(2018年度)

過去最高

利用希望多く「満室」が常態化!

大津夜まわりの会が運営するシェルター(緊急一時宿泊所=大津市内のアパート5室)は、生活困窮者自立支援法に基づく大津市の一時生活支援事業の実施場所としてフル稼働しています。

このほど取りまとめた2018年度の実績によると、下表のとおりシェルター利用者は計18人で、前年度の28人(25件)、前々年度の22人(20件)を下回りました。その一方で、シェルター

2018年度シェルター利用状況

	相談件数	シェルター利用	救護施設入所	直接居宅	その他
野宿・車上生活	5	3	2	0	0
住居喪失直前直後	18	10	1	3	4
住居不安定	13	5	0	2	6
合計	36	18	3	5	10

シェルター利用者数と平均利用日数

	利用者数	平均利用日数
2016年度	22人	54日
2017年度	28人	63.5日
2018年度	18人	73日

シェルター稼働率の推移

	稼働率	宿泊数	宿泊可能数
2016年度	87.5%	1,277泊	1,460泊
2017年度	90.6%	1,539泊	1,699泊
2018年度	93.7%	1,600泊	1,708泊

の稼働率は年々アップし、18年度は93.7%に達しました。また、シェルター利用者の平均利用日数(滞在日数)は前年度より10日近く延び、73日になりました。つまり、シェルターの満室状態が続くとともに、利用者が退去するまでの日数が延びたことで回転率が低下し、その結果、利用者数が減少したのです。常時、満室に近い状態のため、シェルター入所を希望しながら入れなかったり待機をお願いしたりするなど、やむなくお断りせざるを得なかった人も少なくありませんでした。

こうした傾向は今後も続きそうですが、シェルターは無理でも代替の施設や民間アパートに避難できる方策が広がるように、行政や

関係団体、不動産業界の方々と連携して設立した「住まいの安全を考える滋賀・大津懇話会」などで前向きに議論し、安心、安全な「住まいのセーフティーネット」づくりを目指していきます。

一方、大津夜まわりの会が「どなたでも相談やくつろぎの場として気軽にお越しを!」と開放している「ひまわりサロン」の利用者(来訪者)は18年度1年間に延べ1,711人を数えました。これらの人たちから受けた相談は330件、また出張相談や病院の付き添い、買い物支援などで職員が出向いた件数も442件にのぼりました。

皆さんの悩みや心配、不安や困りごとは各人各様、多種多様ですが、大津夜まわりの会は、これからは「断らない支援」「見捨てない支援」を掲げ、問題の解決に取り組んでいきます。

相次ぐご支援、ご協力 感謝します！

軽自動車



念願の軽自動車をいただきました。寄贈してくださったのは、滋賀県遊技業協同組合さんと滋賀県民間福祉振興財団さん。毎年「福祉巡回車両」を滋賀県内の団体などに贈っておられます。

これまでレンタカーに依存していた当会だけに、喜びもひとしおです。早速、利用者の搬送、居宅移行時の引越し荷物の運搬、善意で寄贈を受けた家電や日用品等のもらい受けなどにフル活用しています。

助成金

独自事業の実施に不可欠なのが助成金です。19年度は生活困窮者の自立のための社会生活基盤づくり講座事業には滋賀銀行さんの「しがぎん福祉基金」を、また、夏休みの学習支援事業「2019夏休みこどもひまわりの家」には冠婚葬祭文化振興財団さんの「社会貢献基金」をいただくことができました。

両事業とも、当会ならではの活動と評価されています。

ご寄付

滋賀県共同募金会さんの「平成30年度つかいみちを選べる募金」で当会に590,500円が寄せられ、加算助成金と事務費を相殺し731,500円を頂戴しました。

皆様からの浄財は各種助成事業の自己負担、ひまわりサロンの運営、調査研究費等に充当することで、温かいエールにしっかりお応えしていきます。

今夏もやります

2019 夏休みこどもひまわりの家



7月30日（火）、8月2日（金）、6日（火）、9日（金）、13日（火）、20日（火）、23日（金）、27日（火）の計8日
いずれも10時～16時 相模川会館（京阪膳所本町駅徒歩3分）など

<児童の参加を募っています>

- ・原則小学4～6年生、定員25人
- ・昼間、こどもだけで過ごさなければならぬ、昼食を作ってくれる人がいない、友達がいない、勉強の仕方が分からないなどの悩みを抱えた児童を優先
- ・午前中は学習、昼食のあと、午後は体験、見学などの特別活動
- ・参加費は、おやつ代1日100円
- ・昼食、教材費は無料
- ・申し込み締め切りは7月19日（金）
- ・電話かfax（共に077-521-3603）で

<ボランティア「先生」も募集中>

- ・高校生や大学生、専門学校生、教師OBら、「子どもが好き」な人で、学習アドバイスや活動指導、見守りなどを楽しみながら出来る人
- ・午前中や午後からのみの参加、1日だけの参加も可
- ・謝礼金は支給しませんが、交通費は実費（1日上限2,000円）を支給します
- ・昼食は無料で児童と一緒に食べていただきます
- ・ボランティア活動証明書を発行します
- ・申し込み締め切りは7月13日（金）
- ・電話かメール（yomawrinokai@gmail.com）で当会に申し込んでください